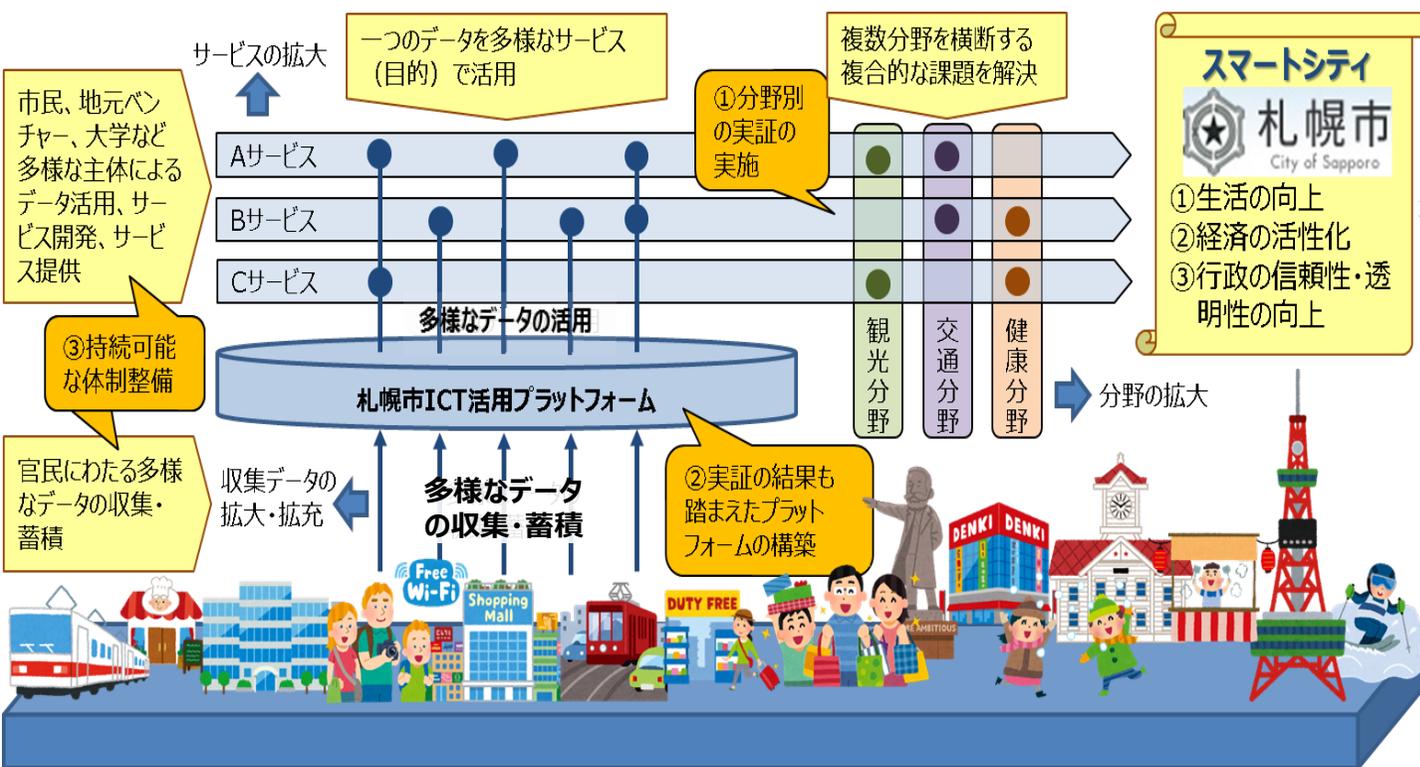


実施地域	札幌市
実施団体	一般財団法人 さっぽろ産業振興財団
事業概要	札幌市の課題に対応した複数の分野に係る実証を行い、その結果も反映したプラットフォームを構築するとともに、サービス提供やオープンデータ化において地元企業など多様な主体が参画した体制整備を行う。これらの取組によりスマートシティを推進する。

プラットフォームのイメージ



観光分野における取組例

- ◆ Wi-FiやGPSによる人流情報と商業施設の購買情報のクロス分析により、国籍別/商品別プロモーションを実施。
- ◆ デジタルサイネージやWebページ(多言語対応)などで、観光情報だけでなく、事故などによる運休情報含む交通情報を表示。

交通分野における取組例

- ◆ 道路状況や走行状況のデータを基に、路肩の積雪や路面の轍などにより渋滞が発生しやすい区間などを予測・分析し、除排雪作業を効率化。
- ◆ 市民のスマートフォン撮影によって路面凍結状況を収集し、転倒リスク軽減のための情報発信や滑り止め材の散布促進。

健康分野における取組例

- ◆ 歩数データ、生体(体重・体脂肪率)データ、個人意識(アンケート収集)など、匿名加工されたデータを収集分析し、健康と運動の関係性の確認、傾向を明確化し、利用者個々人に応じた健康増進等に係る情報を提供。

スマートシティ

札幌市
City of Sapporo

①生活の向上
②経済の活性化
③行政の信頼性・透明性の向上